別紙2-1 添付

再生処理工程説明

次の記載例を参考にして工程が分かるように説明文を記載してください。なお以下の事項について該当する場合は必ず説明文に含めてください。

(1) いくつかの選別品を同一の設備で切り替えて処理する場合には、どの設備でどの選別品を処理するかを記載してください。

(2) 再生処理工程に投入される他の材料がある場合はその名称、投入目的、投入箇所、を記載してください。

(3) １日の処理量が５トン以上の施設の場合、一般廃棄物処理施設設置許可証（変更許可証・軽微変更等届出書）に記載の能力（「最大処理可能量」）が決定された根拠となる機器（一例：破砕機、押出機、等）について説明してください。なお、機器単体が能力の根拠となっておらず、一般廃棄物の投入量＝能力（「最大処理可能量」）とみなしている場合、その旨を記載してください

【再生処理工程の説明文の記載例と必要事項】

＜分別収集物の引渡し性状＞

再商品化事業者に引き渡す性状（梱包の有無等）について、説明してください。市町村による選別等を省略する場合には、再商品化事業者による対応方法を記載してください。

＜材料リサイクルの例＞

・市町村より引き取ったベールを解梱し、手選別コンベア上で人手により発○○と◇◇を選別し、不適物（金属等）を除去する。○○と◇◇以外は主たる再商品化製品の原料とする。

・光学選別機(1)により、PEとPE以外を選別する。

・PEは一旦フレコンに保管し、ある程度の量がまとまったら、破砕（2）・洗浄（3）・比重分離（4）・脱水（5）・乾燥（6）まで連続して処理し、押出（7）を行ないPEペレットにする。

・PE以外は混合品なので破砕（8）・洗浄（9）後、比重分離（10）によりPPを選別し、脱水（11）・乾燥（12）まで連続して処理して、押出（13）を行ないPPペレットにする。

・一般廃棄物処理施設設置許可証の処理能力を決定している機器は破砕機となっている。

＜ケミカルリサイクルの例＞

工程下記の事項について説明文に含めて説明してください

① 原料受入、投入 ・ 原料（分別収集物、他材料）の受入計量設備の設置場所（機器配置図、施設配置図等に明示する）、原料保管場所、引き取り量確認方法

・ 原料の保管場所から投入箇所（機器名称等記載）への移動方法、投入量の計量方法

・ 他材料を混合して使用する場合については、容器包装と他材料の投入管理方法（投入時間帯を別にするか、混合して投入するか等）

② 燃料、副原料等 ・ 再生処理工程に投入される燃料、副原料、製品製造工程で製品に添加される添加剤等がある場合は、燃料、副原料、添加剤等の名称、投入箇所、投入目的等

③ 機器の操業条件 ・ 減容固化器、脱塩素器、熱分解炉、ガス化炉等については、温度、圧力等の条件、ガス化の場合は、ガス化温度として代表させる温度の計測箇所

④ 減容固形化物の搬送ラインの発火対策

⑤ 減容固形化物等の仕掛品の次工程への投入量の計測方法

⑥ 製品の製造量の計測箇所、計測方法

⑦ 製品の出荷方法

⑧ 廃棄物の発生箇所、処分方法

⑨ 排水の排出箇所、廃水処理方法

⑩ 排ガスの発生箇所、排ガスの処理方法

⑪ いくつかの選別品を同一の設備で切り替えて処理する場合には、どの設備でどの選別品を処理するかを記載してください。